

平成22年度第1回田辺市男女共同参画懇話会会議録

開催日時 平成22年9月1日(水)午後1時30分～午後2時50分

開催場所 田辺市民総合センター 4階交流ホール

出席委員 坂本委員、山下委員、羽根委員、恩地委員、安達委員、滝谷委員、松井委員、良原委員、須本委員、峯上委員 計10名

欠席委員 那須明委員、松本委員、玉井委員、明楽委員、瀧本委員、那須正委員、金川委員 計7名

出席職員 山崎部長、杉若室長、坂井主査

傍聴者 なし

内容

1 議題

(1) 田辺市男女共同参画プラン平成21年度推進状況報告書について

「田辺市男女共同参画プラン平成21年度推進状況報告書」に基づき、事務局から説明

(2) 平成22年度田辺市男女共同参画プラン数値目標及び男女共同参画センター実施事業について

資料2及び資料3に基づき、事務局から説明

主な意見等

議題(1) 田辺市男女共同参画プラン平成21年度推進状況報告書について

副会長：男女共同参画週間街頭啓発では、男女共同参画についてどれぐらい理解してもらえたのかと啓発物品を配布しながら思った。怪しい人が配っているのではないかというような目で見られたこともあったが、だからといって一人ひとりに「男女共同参画とは・・・。」と説明してまわる時間もなく難しい。しかし、田辺市内においても男女共同参画週間にあたって啓発を行っているのだということを知ってもらうきっかけになった。このような機会にも男女共同参画を知ってもらい、いかに裾野を広げていくかがひとつの課題になるかと思う。街頭啓発も時間の許す限り参加する機会があればよいと思

う。

A委員：担当課の評価をチェックする機関というはあるのか。

事務局：男女共同参画推進室では、各担当課の施策の一つ一つについて、どこまで取り組みができていくのかについてわからないため、この部分については、担当課の自己評価ということで、お願いしています。

A委員：自己評価だけでは甘い部分もあるから、チェックする機関というのもつくるか、そういうことも考えていかないと進歩がないのではないか。

事務局：担当者が評価をし、係長、課長も見した後、調査票を提出してもらっている状況です。

A委員：「ほとんどよくできました。」ということになっているから、その辺のチェック機能のことも考えてみればどうか。

会長：男女共同参画の認識については個人差がある。この間、「こころ豊かなふれあい社会」という講演会を聞きに行ったが、このテーマであれば健康講座であればよく、あまり男女共同参画に結びついてないのではないかと個人的にとらえていたのだが、反対に「よかった。」という方もいて、最近、つくづく違いがあるということを感じた。男女共同参画に何年もかわり行ってきた感覚と、初めて男女共同参画を知った人とのギャップというのはあって当たり前だし、行政が「男女共同参画」と銘打って行うには、高いレベルの一方の人だけをターゲットにするのではなく、初めて男女共同参画を聞くという人たちにもわかりやすいように行っていかなければならないのかなと、私自身が反省をした。かなりギャップがあるということは事実である。

B委員：男女共同参画週間街頭啓発に参加したが、人出が少なかった。日にち、時間帯、場所などを年によっては変えるなど少し工夫をした方がよいのかなと感じた。

事務局：街頭啓発では、皆さんに大変お世話になりまして、ありがとうございました。例年、オークワのオーシティとパビリオンシティで行っていますが、今年は、街頭啓発に参加して下さる方が多かったため、バイパス沿いのプライスカットの3箇所に分かれて啓発を行いました。毎年、和歌山県の主導で行っているので、懇話会からご意見を頂戴したことをお伝えし検討したいと思います。

議題(2) 平成22年度田辺市男女共同参画プラン数値目標及び男女共同参画センター実施事業について

C委員：男女共同参画連絡会企画講座「仕事に男女の壁はある？」ではコーディネーターをさせていただく。パネリストには男性保健師、女性建築士、男性保育士、女性消防士の4人を考えている。例えば、女性消防士であれば、今までは、男性がして当たり前という職に女性が就いているというところで、「なぜ、消防士になりたいと思ったのか。」「実際、消防士になってみたら、どういうふうなことが障害になったのか。」ということ

などをパネルディスカッションで進め、会場の方ともディスカッションができればと思っている。

先ほど会長もおっしゃったように、「こころ豊かなふれあい社会」講演会については、男女共同参画があまり表に出ていなくて、私も健康増進課が行う講座なのではないかと思っていたが、男女共同参画プランの中のいろいろな部署が挙げている施策の取組みなどは、すべて男女共同参画の視点で行っていることだと思う。男女共同参画は裾野が広いというか、間口が広いが、結局は人権が根本にあっていろいろな活動があると思うので、例えば、「健康でこころ豊かに生きるにはどうしようか」、「農業に関心のある人に対してはどうしようか」と、いろいろな切り口から行くと参加者が増え、このような展開というか、このような講座の方がソフトで良いのかなと思う。「男女共同参画」といううたい文句よりは気楽に入って来ることができ、そこで、ちょっとした気づきがあり、最終的には男女共同参画を理解してもらえればと思う。内容的には、「これ、行ってみたいな。」と思うことがあってよいのではないかと思う。

D委員：「親子体操教室」は、6月末に龍神の保育所でも企画をし、社協さんと共催で行った。佐藤先生は教え方が上手で、内容的にも良く、子供も非常に喜んでいて、できるだけ宣伝をし、多くの方に来てもらえるようにすればよいと思う。

会長：懇話会の設立当初からかかわっているが、「田辺女性センター」を開設したころは、女性の地位向上のために男女共同参画社会をつくらうということで、非常に女性が声高に、悪い表現ではあるが、やってやってやった時代がある。そのときにどういう結果が出たかということ、男性が引いてしまった。もう10年ほど経つが、「この頃の女性は、かなわんな。」ということで、しかも、すべてではないけれども、女性はいかに男性に虐げられていたかということ、それを声高に言っていた時期があり、そのころから考えると男女共同参画プランも見ても、これから何をするかということについても男性の講師を呼び、男性への意識啓発なくして男女共同参画はできないのだということが長い実践の中でわかってきた。いくらシュプレヒコール、旗を挙げて男性に引かれてしまったら、共同ということや、お互いに思いやる社会、互角の社会ができないだろうということが毎日の生活の中でわかってきたし、こういうものを見るとつくづくそう思う。非常に良いことだし、「親子の体操教室」にしても男性が来てくれるだろうし、「仕事に男女の壁はある？」で、女性消防士や男性看護師たちに話を聞くことにしても、段々落ち着いてきたという感じがする。

E委員：市町村合併をして5年になるが、男女共同参画懇話会委員となったので、会議に参加し、勉強していきたいと思う。

昔と比べると大分平等になってきたと思うが、男女共同参画というのは大事なことなのでもっと進めていかなくてはと思う。長い間、教師をした中で、女性の管理職登用が非常に少ない。素晴らしい女性教師がいるのにと、いつも思う。数年後には女性管理職がゼロになるのではと心配している。

「男性の介護を考える講演会」を本宮町で開催してくれるというのは非常にありがたい。ぜひ参加したいと思う。素晴らしい講演会に参加したくても旧市内での開催というのは、やはり遠い。例えば午後8時半に終わったとしても、なんだかんだと出発が9時になり自宅へ帰るのは10時を過ぎるので、田辺市全体を考えていただき、旧市内だけではなくできるだけ真ん中の方へ移動してほしいという思いがある。田辺市全体を考えるとそういうことも平等になるのではないかと思う。大塔、中辺路での開催だと気分的に違うが、ここまで来るとなると本当に遠い。そんなことばかりもできないと思うが、何回かのうち、何年かのうち1回はと、そういう思いは持っている。

F委員：この間の講演会に参加させていただいたり、このような会議に参加し皆さんの意見をいろいろ聞かせてもらったりしているが、まだこの場で発言できるほど勉強していない。

G委員：参加してくれる人というのは、来る力があってよいが、中には参加したくても来ることができない人が絶対いると思う。特に高齢者の場合、体操教室など各公民館で実施するとか、送迎の問題についてももう少し考えて改善するとか、民生委員さんの力を借りて、高齢者にこういう教室などがあるよと伝えるなど。そこまでするとさらに民生委員さんに負担をかけてしまうことになるかもしれないが、いろいろ手助けをしながら来ることができない人のことも考えることが大事だと思う。参加率を上げることも大事だと思うが、会場へ来ることができない人が来れるようにすることの方が参加率より大事だと思う。

A委員：若い人が参加しやすいように夜の講座開催の件については、講師の宿泊費がかかってくるということであったが、そういう若い人の意見をお金で切ったら駄目だ。こういう形でしてくれたら参加したいと言っているのだから、10回すべてとは言わないが、1回や2回は取り入れてみないと、お金がかかるから駄目だというのは、答弁にならない。そういう企画をして実施した方がよい。

事務局：この件については、今、若い方たちは、どのようなことに興味があるのか、どのような講座を望んでいるのか、また、夜間の開催がよいのか、昼間の開催がよいのか、その時間帯についてもいろいろ選択肢を出してアンケートのお願いをしています。予算を使うにあたっては、こちらとしてもその辺りの把握をしたいので、その結果を見てから検討していきたいと思っています。

A委員：男女共同参画という言葉は、田辺市内全部で把握されているのか。どういうことを行っているのかなど、男女共同参画の意味が通っていない中で、やっても意味があるのか。男女共同参画連絡会や、人権擁護連盟女性問題部会とか、いろいろおんぶに抱っこをしているが、男女共同参画推進室の主催というのがないように思う。

事務局：男女共同参画推進員は、男女共同参画を全市的に進めていこうということで、ご協力いただいている方々が現在、男女合わせて10名いらっしゃいます。また、男女共同参画連絡会というのは、現在、23団体の皆さんが集まっているネットワークの会

で、それぞれに田辺市で男女共同参画を進めていこうと力を合わせていろいろご協力をいただきながら、このような講座がよいのではないかと企画していただいています。そして、男女共同参画推進室としてプランに掲げる具体的施策を具現化するところが男女共同参画センターということで、今年度は「再就職セミナー」や「農業に生かす女性の力」、「男女共同参画講演会」を実施する予定です。あとは、まちづくり学びあい講座などで男女共同参画の基本的なところを啓発していきたいと思っています。皆様方の団体の方々からもお声かけいただければ、どちらへでも出向いてまいりますので、よろしくお願い致します。

会長：どれだけ市民の中へ浸透していくか、その役目をするのは懇話会委員であったり、推進員だったり、連絡会のメンバーであったり、市民と行政がこのようなことを計画し、橋渡しをするのが私たちの役目ではないかと思う。

辛いニュースであるが、子供が虐待され箱に詰められて死体が冷蔵庫で保管されていた。そのお母さんは、親の勧めでいやいや結婚し子供ができたのであるが、非常に優しくされた男性のもとへ逃げていた。しかし、その優しい男性だと思っていた人が、実はすごいDV男であって、子供を虐待する前にまずお母さんに暴力を振るった。どんな暴力であったかという、鎖につながれていて、おまえの耳にピアスをしてやると言っていて、そのままキリで穴を開けるといようなDV。それから子供をいじめるわけであるが、そのお母さんの感覚というのは親にも背いて家を出ているから、私には行くところがない、我慢するしかないということで、子供が殺されるのを見ていた。見殺しにしたということで、お母さんも同罪で捕まり、そこへカウンセラーが派遣された。そのカウンセラーからDV法という法律があり、DV被害者を保護してくれるシェルターもあることを聞くと、「私みたいな者もそこへ行くと助けてくれたのでしょうか。」と。まず、そういう情報を知らなかったことが悲劇の始まりであった。あなたたちのような親子のためにDV法があり、そしてシェルターがあることを言うと、「えー、知らなかった。」と。「とんでもないことをしてしまったけれども、私たちのような親子を助けてくれる、国の助けがあるということを知っただけでも今、とても気が楽になりました。」と。知らないということは、結局大変なことになる。知らせる、宣伝をするということが大事なのではないかと思う。

H委員：女性の視点を生かしたまちづくりの話で以前、聞かせてもらったことがある。そもそもは庭先で新鮮な野菜や果物を販売していたのを、それだけにとどまらずに、何人かの女性が集まって日持ちさせるためにいろいろな知恵を出し合い加工技術を学んだりして大きな道の駅のようなところで売ることにより、まちづくりに貢献していったということであった。他の団体の方など多くの方の力もあるが、いちばん初めは、女性の視点でなんとかならないかということで考えて始めたことだと聞かせてもらった。地域の女性の力というのは非常に大きいと思っている。

夫婦であれば、夫は上からの目線だけではなく、妻の言葉を聞くということが大事で

あるし、妻も家事分担においてなど自分の主張をうまく伝えることができるようにする必要があると思うので、いろいろな講座や研修会などに参加してその技術を身につけるということも重要であると思う。

E委員：具体的に数値目標を挙げているのは、非常に良いことだと思う。講座・講演会の開催10回という目標を達成できれば評価がAということだと思うが、さらに参加者が多ければ、なお素晴らしいと思うので啓発、宣伝が大事だと思っている。

スポーツ振興課の総合型地域スポーツクラブの数値目標については、現在、4箇所となっているが、本宮町にはまだないのか。

事務局：会津スポーツクラブ、ESスポーツクラブ、田辺カヌークラブ、龍神総合型地域スポーツクラブの4箇所であり、旧田辺の3箇所と龍神の1箇所の設置となっています。

D委員：平成23年春開催の「第62回全国植樹祭in和歌山」を進めているのは県林務課である。今まで林業分野については男性の仕事だと思われていたが、各振興局の担当では女性のリーダー的な職員が育ってきている。林業はひどい状態であるが、そういう明るい兆しも見えてきている。

会長：県で表彰されていた方もいたので、機会があれば呼びするか、資料を取り寄せて紹介することもよろしいかと思う。

事務局(部長)：本日は男女共同参画プランの平成21年度推進状況を報告させていただいたわけですが、貴重なご意見をいただきまして、本当にありがとうございました。委員の皆様方には、この懇話会の参加だけではなく、日常生活において市民の皆さんに男女共同参画についての様々な取組みをお話いただいたり、また、催しに参加をしていただいたり、幅広くご活躍いただいていることに対しまして、厚く御礼申し上げます。

プランの実績評価については、それぞれの担当課は少し甘いところがあるのではないかと、第三者が評価することが必要ではないかというご意見もいただきました。確かにそういう部分も否定できないと思いますが、数値目標においても客観的な判断材料の基に評価ができていないのではないかと思います。ただ、非常に幅広い分野にまたがっておりますので、今後、これも当面は自己評価になろうかと思いますが、各所管においてより客観的に評価することを心がけるように、そしてその評価した理由についても、中々具体的に記載できないというところもあるのですが、わかりやすく簡潔に記載するように伝え、自己評価を客観的にできるような取組みにしていきたいと思っています。

男女共同参画については、国政では蓮舫議員のように若い女性が活躍していますし、地方においては警察や消防本部、消防団など従来、男性の職場といわれていたところに女性の職員、あるいは団員が着実に増加しつつあり、男女共同参画社会に大きく向ってきているのではないかと思います。一方、保育所においても男性の保育士が少しずつではありますが増えてきています。また、応募人数についても男性が保育士を目指してチャレンジをする方も着実に増えてきており、社会全体が男女の区別なく、それぞれが持

っている個性を発揮できるように少しずつですが、なっているのではないかと考えています。

田辺市におきましても今後の男女共同参画社会づくりに向け、委員の皆様方のご支援をいただきながら、一層、取組みを強化してまいりたいと思っていますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。手厳しい意見もいつでも結構です。事務局に申し出ていただき、実施できるようなものであれば積極的に検討してまいりたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。本日は本当にありがとうございました。

副会長：今日は、皆さん、お忙しい中、ありがとうございました。今回もいろいろ忌憚のない意見を出してもらいよかったと思っている。

先ほどの夜間の講座開催についての具体的なアンケートの状況などもこの懇話会委員にご報告いただければと思う。次の会議は、3月末ごろに男女共同参画センター事業の報告ということなので、皆さん、万障繰り合わせの上お集まりいただきたいし、また、講座など参加できるものがあれば、各自皆さん参加したり啓発活動に努めていただければと思う。

こういう問題は中々浸透しにくいことだと思うので、今のところは地道に行っていくしか方法はないと思うが、そういう進め方についてのご意見があれば、また、このような機会や事務局の方にもお願いしたい。本日はありがとうございました。